

埋蔵文化財ってなに？

大昔の人々が生活していた住居やお墓などを遺構、土器や石器などの道具類を遺物といい、それらが残された場所を遺跡といいます。これらは土に埋もれていることから埋蔵文化財と呼ばれています。埋蔵文化財は先人たちの歩みが記録されたタイムカプセルのようなものです。後世に引き継いでいくため、大切に保存していく必要があります。

■所在地／月寒東3条11丁目、月寒東5条13丁目

■時代／旧石器時代～縄文時代までの遺物・遺構が発見されている。

■発掘時期／昭和56年、62年、平成2～4年の3回発掘調査が行われている。

宅地造成やあやめ野中学校の建設に伴って発掘調査が行われた。平成2～4年にはあやめ野中学校生徒の歴史学習として発掘体験も行われた。遺跡の一部は現在「あやめ野中学校遺跡の森」として保存されている。



縄文～続縄文の土坑墓跡

あやめ野中学校生徒の発掘体験



縄文～続縄文の石器類



続縄文前期の土器

[平岸坊主山遺跡]

■所在地／平岸5条10丁目ほか

■時代／縄文時代早期～擦文時代までの遺物・遺構が発見されている。

■発掘時期／昭和39年、48年、58年の3回発掘調査が行われている。

宅地造成や道路建設に伴って発掘調査が行われた。昭和10年ごろにはすでに遺跡の存在は知られており、その後、平岸坊主山遺跡と呼ばれるようになった。札幌市内では発見例が少ない縄文時代前期の土器が出土している。



T310遺跡発掘時の様子

縄文後期の土器



縄文前～中期の土器と石器

もっと詳しく知りたい方は 埋蔵文化財センター展示室へ！

札幌市埋蔵文化財センターには旧石器時代からアイヌ文化期までの資料が展示され、実物の土器や石器などを見ることが出来ます。古代の札幌に興味のある方は一度足を運んでみてください。

札幌市埋蔵文化財センター展示室

中央区南22条西13丁目(中央図書館併設)

開館時間／8時45分～17時15分

休館／祝休日、年末年始(ただし5/3～5、11/3は開館)

入館料／無料

☎512-5430 ☎512-5467

